



## &lt;この指導の前に準備すること&gt;

- 授業中以外に被災した場合、それぞれの場所の避難方法、避難経路をマニュアル化しておく。
- 教員間の共通理解を図る。
- 放送が使えない時の生徒の誘導の手段や方法について決めておく。

## &lt;授業展開例&gt; (全学年可能：3年間で1度は行いたい)

## 第〇学年 学級活動学習指導案

## 1 題材名 昼休みに地震が起きた時、自分の命を守るために

## 2 題材の目標

- (1) 昼休みに自分がいる場所を想定し、第一次避難の方法が分かる。
- (2) 自分がいる場所から避難場所への経路を考えることができる。

## 3 題材の評価

学校内のどこにいても第一次避難の方法が分かり、先生がそばにいない時でも自分で判断し、避難場所へ避難するイメージができ、今後の学校生活に生かすことができる。

## 4 本時の活動

- (1) 昼休みに地震が起こった時のことを想定し、グループで避難方法を考える。
- (2) 減災に対する意識を高める。

## 5 本時の展開

時配	学習内容・学習活動	支援 (○), 留意点 (●), 評価 (☆)
導入 (10分)	1 テキストを読んで、地震はいつでも起こる可能性があることを意識する。 2 震度6以上の地震が学校で起きた時に、どんなことが起きるか考える。 ・校舎の中。 ・校舎のまわり。 ・電気や水道が使えなくなったら。 ・その他、気になること。	・千葉県は、大規模地震が発生した時の被害想定を平成20年に発表していることを説明する。(○) ・帰宅方法や家族の安否の確認などの課題もあるが、ここでは学校内での被害状況に焦点をあてて考えさせたい。(●)
<b>学習課題 昼休みに地震が起きた場合、自分の命を守るためにはどうしたらよいのだろう。(自助)</b>		
展開	3 それぞれの場所にいた場合の第1次避難を確認する。 ①教室で友人と話している時。 ②廊下で他のクラスの友達と話している時。	・それぞれの第一次避難についてみんなで考えるとよい。(ワークシート) (○) ①机の下にもぐる。 ②窓から離れ、頭を保護する。

<p>展開 (35分)</p> <p>まとめ (5分)</p>	<p>③体育館で次の授業の準備をしている時。 ④校庭で遊んでいる時。 ⑤トイレにいる時。 ⑥図書室で読書をしている時。</p> <p>4 &lt;グループ学習&gt; ワークシートに従い、グループで話し合いながら進めていく。司会者を決める。 ・班ごとに場面を選ぶ。 ・落下物・転倒物について考える。 ・自分の命を守るにはどうしたらよいか、必要なことを考える。 ・友人を助けるためにどうしたらよいか考える。 ・避難場所を確認する。</p> <p>5 &lt;一斉&gt; それぞれのグループが発表する。 他に気づくことはないか、他のグループから質問や意見を出す。 減災や対処方法、心の準備について考える。 ・教室の中での対策と対処。 ・先生がいない時の対処。 ・いつでも先生がそばにいるとは限らないので、その時はどうするか考える。 ・一人の時もあるので、その時自分はどうなってしまうかイメージする。</p> <p>6 学習の振り返りをする ・自己評価をする。 ・相互評価をする。</p>	<p>③天井からの落下物を防げる所に行く。頭を守る。 ④しゃがむ。 ⑤照明器具・ガラスの落下に気をつける。出口の確保。ドアを開ける。 ⑥机の下にもぐる。</p> <p>4～6人のグループを作らせる。 ・司会が進行し、全員の意見を聞けるように指名したり、順番で意見を出させる。 ・その場所での危険な「もの」や「こと」について予測させる。 ・ただ単純に「助ける」ではなく、状況を確認したり、先生や友人を呼んだりすることも必要であることに気づかせたい。(○) ・避難場所の基本はグラウンドだが、地割れ、液状化などの被害も考えられる。(●) ・普段、何気なくやっていることで危険なことはないか考えさせる。 ・自分の机やロッカーの中、持ち物の整理整頓はなされているか確認させる。 ・自分の命を守ることが最も大切であることを強調したい。(●) ・あわてないことが大切であるが、多くの生徒が我先に逃げようとしたり、その場を動けずパニックになったりする可能性もあるので、日ごろの心の準備や避難訓練の大切さを強調したい。(●)</p> <p>・昼休みの避難方法について積極的に考えることができたか。(☆) ・話し合いに参加しようとしたか。(☆)</p>
---	--	---

<関連して>

昼休みの避難訓練や放送を使わない生徒の誘導など、避難訓練も様々な災害（地震・火災・水害など）や時間帯を想定して行う必要がある。そのためには、学校周辺の地域にどのような被害が想定されるかを事前に把握しておかなければならない。

課題4-1「わたしたちの住むまちは、どんなまち？」を行ってから本展開を行うと、学校は自分たちのまちの中にあるのだということがより具体的に認識でき、指導効果が高まると考えられる。